

H30年度 指定管理者導入施設 管理運営総合評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	HOS生駒北スポーツセンター				
所在地	生駒市高山町166-2				
指定管理者名	HOSグループ	指定期間	開始日	平成27年 2月22日	
利用料金制適用区分	不適用		終了日	令和 2年 3月31日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5年の最終年		
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など				
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の徴収等窓口業務、体育施設の維持管理運営、その他				

2 利用実績

利用区分等	単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
グラウンド	人		23	53,124	61,283	60,652	74,622
野球場	人			10,043	7,233	5,797	4,401
体育館(会議・多目的含む)	人		774	19,833	17,823	33,501	43,346
テニスコート	人		10	5,601	5,305	6,891	7,026
ランニングトラック	人		0	113	503	431	191

3 事業収支

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
収入計	A	0	5,833,000	56,751,000	57,114,000	59,037,000	101,878,000
指定管理料			5,790,000	55,340,000	55,340,000	55,340,000	55,340,000
利用料金収入							
自主事業収入			43,000	617,000	1,083,000	2,947,000	45,136,000
その他				794,000	691,000	750,000	1,402,000
支出計	B	0	5,790,000	61,961,000	56,745,000	58,635,000	112,816,000
指定事業費			5,790,000	55,340,000	55,340,000	55,340,000	55,340,000
自主事業費			0	6,621,000	1,405,000	3,295,000	57,476,000
事業収支	A-B	0	43,000	-5,210,000	369,000	402,000	-10,938,000

4 管理運営状況評価

有効性 ：施設の設置目的の達成（施設の目的や特性等に合致した管理運営、市民の平等な利用の確保、利用者の満足度等）	
指定管理者による自己評価	利用者の満足度UPに注力しすぎることなく、近隣住民の方へのご迷惑にならないよう利用者へ使用におけるマナーや開閉時の利用案内等の徹底に努めております。また、施設周辺に無断駐車がないよう混雑が予想される日は施設の利用制限等を行い対応しています。
市の評価	地域特性に配慮しながら、運営されています。指定管理者応募時の事業計画に則り、総合型地域スポーツクラブとの事業連携においては、課題を残すこととなりましたが、北部スポーツタウン構想の拠点施設として、概ね適正な管理運営を行われました。
効率性 ：経費の縮減等の効果（経費縮減・収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	全施設の業務管理をすべて委託先に委ねるのではなくスタッフ間でできることは行う等、より高いエコ意識共有で臨め経費削減や維持に努めています。また、自主事業の回数増や内容変化だけではなく、多職種多世代の方がに参加しやすい種目にもフォーカスしながら、たくさんの利用に繋げることができました。
市の評価	自主事業を活用しての施設の有効活用や周知啓発については、高く評価しています。
適正性 ：適正な施設の管理運営（施設の管理運営の状況、自主事業の取組、安全管理・危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	利用者増に伴い発生しやすいレセプション業務のミスを軽減できるように社内研修やMTGを定期的に行っています。そして、広告宣伝にも注力し情報発信に努めることにより認知度向上や利用者増に貢献できているように感じます。また、安全管理等、各種のマニュアルに従いながら利用者アナウンスを行い、サマーシーズンではミスト機や扇風機やアイシング用の氷や冷暖房完備のレストルームを提供したりしながら、熱中症に備え対応しております。
市の評価	自主事業が増えていく中で、利用者目線にたった管理運営を行っておられます。FC/バルセロナサッカー学校奈良校をはじめとした北部スポーツタウン構想の実現に向けた事業への取組もされています。緊急時における各種マニュアルも整備されており、不測の事態への対応もできています。

安定性：サービスの安定的な提供（事業収支の状況）

指定管理者による自己評価

年々、自主事業数増加により安定した収支傾向にあります。内容によっては収支にギャップが生じています。ハルサアカデミー奈良校に関してはイニシャル・ランニングコスト増の傾向です。しかしながら中長期で見れば安定した収支の見込みです。また、継続事項になりますが必要に応じイノベーションを行い、お客様のニーズに合う自主事業を展開し、多世代の方々の利用増にも繋げていきたいと思っております。

市の評価

平成30年度自主事業については、大幅な赤字となっています。赤字解消に向け取り組み、自主事業における財政健全化を図ってください。

5 総合評価（指定管理期間全体を通じた管理運営に対する評価）

指定管理者による自己評価

利用者の増加につれて、トラブルやクレームが増えてきました。どちらもクイックレスポンスで対応するためには、スタッフ間でディスカッションや共有を行い対応していくことを心掛け臨んでおります。また、施設の老朽化による修繕数の増加や自然災害による施設緑地計画変更などコスト増の傾向にありますので、すべて委託先に任せるのではなくスタッフ間の可能な範囲で処理を行う等経費増を抑制する行動を実施できました。HPのバージョンアップやSNSの活用の頻度を重ねることでお客様からのお褒めの言葉を頂け、それが施設全体での利用件数・利用者数・稼働率増に繋がっているかと考えます。また単発の自主事業だけではなく、短期教室や個人参加型スポーツや成人、Jrスクールを実施することで安定した収入向上が見込めます。今後も継続して行えるよう多種目のスポーツイベントを展開し、多世代の方々が参加できるよう創意工夫していきたいと思っております。そしてマイクロバスの活用や研修棟を使用することによりお客様からも好評を受けております。安全管理に留意しながら引き続き新たな事業に着手しながら展開を図っていききたいと思っております。

市の評価

この四年間の間に、短期、常設を含め、様々なスポーツ教室を実施されました。また、FCバルセロナサッカースクール奈良校の開校などにより、北部スポーツタウン構想の柱である「アスリートとふれあえる街」「誰もが集えるスポーツ施設の推進」に大きく寄与していただきました。総合型地域スポーツクラブによる施設の管理運営と事業展開といった課題が残ったものの、生駒市北部スポーツタウン構想の実現に向け前進したと感じています。